

みんなの気持ちが一つにつながり合えた夏祭り



手作りの祭りを支えて頂いた地域の皆様、学校関係の皆様、関係団体の皆様、自治会役員や関係者のすべての皆様、ありがとうございました！

こま武蔵台自治会長 土井太郎

空を見上げ小鳥の囀りを聴いて「ああよかった！」と思わず声に出して言ってしまった。みんなで一生懸命準備してきた夏祭りの朝でしたから。

夏祭りも今年で37回目を迎えました。自治会最大のイベントとして、すっかり定着したのも昨年以上の方が来場されたのではないかと思います。何より嬉しかったのは、皆さんが会場のおちらこちらで笑顔で歓談しておられる姿や、結婚されたり就職等でこの団地を出て行かれた方たちが、祭りに合わせて大勢里帰りされ、お孫さんを交えご家族やお知り合いと旧交を温めるといふケースが年々増えてきたことです。『緑と清流に囲まれた自然豊かなこの団地を、みんなの心のふるさとに』を合

言葉に、総手作りの心温まるお祭りを繰り広げられたことは大変うれしく、このことは自治会が目指しているお祭りの目標でもあります。37回にわたってお祭りが途切れることなく続いてきたのは、自治会の先輩方やそれを支えてくれた地域の皆様はじめ各団体の大変なご努力があったからです。本当にありがとうございます。40年近い時が流れる今も、そして世代が変わっていくこれから先も、この団地を将来の棲家として、また、故郷として愛しむ人のつながりで、何時いつまでもお祭りが続きますことをお祈り申し上げます。お礼の挨拶といたします。



第348号

発行 こま武蔵台自治会
☎ 982-3904
編集 広報部
発行部数 2,500部 (単価47円)

◆11月2日 秋の日帰りバス旅行のお知らせ

秋の信州路、蓼科高原と白樺湖を楽しむ



今年も会員の皆さんの親睦を深め、秋の自然を満喫する日帰りバス旅行を企画します。

信州のビーナスラインを走り、白樺湖畔の散策や蓼科高原の秋の自然を楽しむ旅程です。

湖畔でバイキングの昼食を楽しんだのち、諏訪大社参拝や蓼科高原チーズケーキ工房でお買い物。バス旅行ならではの楽しみをいっぱい詰め込みました。

期 日 11月2日(水)
(朝7時出発 → 午後7時帰着予定)
行 先 長野県白樺湖、蓼科高原
会 費 6,000円/人 (当日徴収)
募集人員 90名 - 大型バス2台を予定
参加申込 9月5日より受付開始。
定員になり次第締め切り。

申 込 先 自治会館 事務局 (電話：982-3904)
尚、旅行の詳細については、9月1日発行の自治会回覧をご参照ください (文化厚生部 鳥井)

◆9月25日 地区体育祭のお知らせ

地区対抗10連覇目指して、みなさん参加しましょう!!

秋恒例の地区体育祭も今年で34回目、武蔵台地区は10連覇を目指します。平成19年からは武蔵台と横手台の地区対抗戦にもなっています。

対抗種目は全5種目(紅白玉入れ、レスキュー綱引き、ボール送り、障害物競争、地区対抗リレー)僅差で競り合い、最後のリレーで優勝が決まるような手に汗にぎる展開が毎年繰りひろげられています。また、どなたでも参加し楽しめるパン食い競争、自転車遅乗り競争、買い物競争などの種目も沢山あります。家計にうれしい賞品も沢山ありますよ!

開催日 平成28年9月25日 (日)
予備日は10月2日 (日)
場 所 武蔵台小学校 グランド

地区対抗種目の選手募集については、「回覧」で各戸に回ります。ぜひ申し込んで下さい。(体育部 皆川)



平成28年度(7月) 第4回定例役員会報告

平成28年7月16日(土)

午後7時～9時

自治会館2階会議室

◆I 協議事項◆

- ① 平成28年第37回夏祭り最終確認
全体で行う作業23日(土)、30日(土)
の役割分担
プログラム確認
夏祭り当日の午前、午後の役割分担
その他検討事項
- ② 来賓者に対する対応(案内役、料理
関係)
- ③ 夏祭り舞台の設営変更について
- ④ 山車牽き子供の法被対応について
- ⑤ 盆踊り子供参加促進に向けて
- ⑥ 住民安否確認防災訓練の方法につ
いて
班長会議の招集で徹底する
訓練の方法について
- ⑦ 大掃除の対応について
- ⑧ 真夏の参加者に対する健康管理対策
- ⑨ 武蔵台・横手台体育祭について
役員の役割分担、申請書提出。
- ⑩ 慶弔見舞金支払い対象の明確化に
ついて

◆II 会長・区長からの報告◆

(1) 会長関係

- ① 社会福祉協議会会員増強月間(7月
8月)
- ② 一斉大掃除時熱中症発生 今後の
対応検討
- ③ 植木剪定枝の集積場開設、7月より
開始(業者回収毎月第一、第三金曜日)
- ④ NTT電柱立て替え予定(6丁目)
随時、実施期間10月迄
- ⑤ 7月7日(木) 区長要望担当部署と
ヒヤリング実施
- ⑥ 7月15日(金) 台っこスクール実施
- ⑦ 7月20日(水) ケアーマネ会議
- ⑧ 7月21日(木) 郊外住宅地の住まい
方アンケート調査報告会開催
午後1時30分より 武蔵台公民館にて
- ⑨ 60番ダストBOXの水運びキャリアー
紛失(ダストBOX内保管)
- ⑩ 区長関係

- ① 7月3日(日) 飯能日高西部地区消
防操法大会(第三分団優勝)県大会
出場
- ② 7月22日(金) コミュニティ協議会
三役会
- ③ 7月28日(木) 社会福祉協議会評議
委員会
- ④ 介護予防サポーター養成講座開催
(8月より8回実施) 以上

おくやみ

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

林 政道(74歳) 二一二十七―

ご逝去日 五月十四日

吉田 壽子(85歳) 五―十五―七

ご逝去日 七月三日

平成28年度(8月) 第5回定例役員会報告

平成28年8月20日(土)

午後6時～7時

自治会館2階会議室

◆I 協議事項◆

- ① 平成28年第37回夏祭り反省につい
て
夏祭り反省につきアンケート集約実施
夏祭り収支報告9月までに整理
- ② 防災訓練(住民安否確認防災訓練)
の方法について
安否確認の準備体制の確認
公民館での防災訓練
- ③ 武蔵台・横手台体育祭(9月25日)
について
役割分担の確認
賞品手配の確認
参加者への対応と準備体制について
- ④ 山林草刈について
今年から(果樹広場)の草刈を行なう
(実施予定10月1日(土))
- ⑤ 日帰りバス旅行募集について

◆II 会長・区長からの報告◆

- (1) 会長報告
- ① 社会福祉協議会会員増強の確認
- ② 各委員会の進捗状況について確認
- ③ ダストBOXキャリーの使用状況の
把握と今後の対応について

- ④ アカシヤ道路(自治会館前から汚水
処理場前) 歩道改修実施8月22日～
9月末
- ⑤ 中央通りフォーユード前から木綿沢
交差点間、雨水人孔蓋13個所交換8
月9日～22日
- ⑥ 8月15日振り込め詐欺防止キャン
ペーン、高麗郵便局前にて実施(安
全対策部)
- ⑦ 8月28日日高市防災訓練
- (2) 区長報告
- ① 8月18日(木) 国民健康保険審議会
- ② 8月20日(土) 埼玉県消防団県大会
(鴻巣)、日高市第三分団優勝
- ③ 8月24日(水) 日高市行政審議会・
健康推進いきいき体操会議
- ④ 8月26日(金) 日高市区長会役員会
- ⑤ 8月30日(火) 日高市社会福祉協
会三役会 以上

武蔵台中学校の体育祭に 出かけてみませんか!!

9月17日(土)は中学校の体育祭です。
多くの皆さんのお孫さんと同年頃の子
供たちが真剣に頑張る姿には、いつも楽
しさと感動をもらっています。お出かけ
ください!楽しんで下さい!『元気』を
もらって下さい!

(武蔵台中学校評価委員・田中三千年)

ダストボックスの維持管理について

一人一人がマナーを守り愛情をもって使うことで、住みよい街となり、自治会の経費軽減にもつながります

武蔵台にある79か所のダストボックスは、土地を含め市に移管されており、自治会は、日高市と維持管理の契約を取り交わしています。

平成17年頃から、経年変化による傷みが顕著にみられるようになり、武蔵台の環境にふさわしい状態を維持するために、自治会では平成19年度から補修工事に取り組みました。工事は緊急性を考慮して、

- ①扉の塗装
- ②外部躯体の補修及び塗装、天板のジョイント部のシールの打ち替え
- ③内部床の補修

の順に進め、本年度からは③の「内部床補修」に着手しました。

ダストボックスは常時途切れなく使用されるため、内部床の補修に使用する材料は制約を受けます。床の剥離、ヒビの補修材は速乾性が要求され、消毒薬に対する適性、材料の安全性も重要です。これら条件を考慮し決定されました。工事は1丁目から着工中で、引き続き7丁目まで進めていく計画です。

補修の費用は、皆様にご協力をいただいております資源ごみ回収報奨金の一部を充当することにより賄っています。近年、武蔵台の資源ごみの回収量は減少してきており、補修費が自治会財政を圧迫する要因となる可能性があります。一時は年間300万円以上あったこの報奨金は、年々減少状況にあります。皆様にはより一層の資源ごみ回収にご協力をお願い致します。

生ごみを出す際には、十分な水切りと、ごみ袋の破袋が無いように・・・！

生ごみのごみ汁は悪臭のもとになり、ダストボックス近くのご家庭に多大なご迷惑をかけることにもなります。更には、虫の発生、コンクリートの劣化をひき起こします。

自治会では、現在のダストボックスの延命化を図りながら、環境の維持に努めていきます。住みよい街、清潔な街を維持するためにも、皆様一人一人がマナーを守り利用して頂けるよう、ご協力をお願い致します。

(環境衛生部 村端)



専門委員会活動について

28年度、自治会は重要な課題を的確に解決または検討を深めるために、次の4つの専門委員会を設置し、活動を開始しています。

- ① 自治会館改築検討委員会 (菅野委員長)
- ② 移送サービス検討委員会 (桂委員長)

③ 自主防災検討委員会 (田中委員長)

④ あり方検討委員会 (西條委員長)

武蔵台だよりでは、これらの委員会が検討している課題と検討の現状を順次報告していきたいと考えています。今回は、「移送サービス検討委員会」を取り上げました。

(広報部記)

移送サービス検討委員会活動中間報告

自治会では、近い将来に超高齢化社会の出現が現実視される状況の中で、我々が日常生活を営む身近な地域社会に、「活力」と「楽しさ」を構築するために今何をなすべきかを議論してきました。その中で、「移動弱者にたいする移動サポート」が地域活性化の重要な鍵を握るのではないかと考えるようになりました。

長年にわたり、移送サービス事業化の実現のための議論を重ねてきました。その間、平成26年には日高市の協力のもと試行運行も実施し、現実的な課題の抽出・検討を進めてきましたが、今日まで実現には至りませんでした。本年度も「移送サービス検討専門委員会」を設置し、既に3回の委員会を開催し議論を進めております。

委員会で検討をしている課題は、要約すると次の4項目と考えています。

- ① 「道路運送法」の解釈

② 事業運営経費負担の見直し

③ 住民に対する説明と周知

④ 地域コミュニティーの育成

①、②については、意見の集約がなされつつあります。

③については、自治会の組織を最大限に活用して準備を進める予定です。

④の課題は、住民が自由に集い、語らいのできる場を作るといことです。地域活性化のためには大変重要な問題で、移送サービスと関連する課題と考えています。ただしこれについては長期的視野に立ち、行政との連携も含めて考えていかなければならないと思っています。

いずれにしましても、目標として平成29年後半までに移送サービス事業を開始できるように作業を進めている現状です。

(委員長 桂好弘)

夏祭り スナッフレポート

絆を育んだ夏祭り

このような風景が末永く続いてほしいと思った一日でした！

8月6日土曜日、今年も中の田公園で熱く夏祭りが開催されました。

3時、やぐら前のステージで子供たちがザワザワ。ビンゴ大会のはじまりです。

まだ日差しが強い4時、「ビンゴ大会ではっぴを受け取った子は山車巡行の時間です。山車前に集まって下さい！」のアナウンス。でも、子供たちは山車どころではない様子。模擬店でゲームの真最中。そんなアナウンスが数回、お囃子の音と共に山車がいよいよ出発。

4時半頃になると武蔵台中学校 - 吹奏楽部の演奏がはじまり、大人の姿が増えはじめてきた。『おひさしぶり！』『元気があった？』の声があちこちであがっている。

ダンススクールの子供たちのダンスを観たり、模擬店の焼き鳥や焼きそばを食べたり・・・

そして、陽が沈み、提灯に灯りがともり、太鼓の音と共に曲が流れる。やぐらの周りにはひとの輪ができ、ゆったりと踊るを楽しむ人たちでその輪が膨らむ。いつの時代も変わらない光景。いいですね！

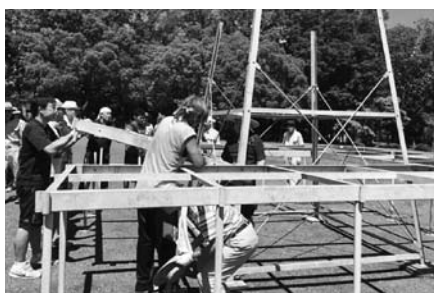
終演の9時に近づき、思い思いに楽しんでいるとひとたちにつらいアナウンス、「次は最後の曲になります・・・」

お祭りが終わった9時を過ぎても、テーブル席ではまだまだ話が尽きないようでした。この様な風景が末永く続きます様に・・・

(取材 広報部 池辺、達城、内野井)



今年も幼稚園、小学校、中学校の皆さんの美しいポスターが中の田公園沿いを飾りました。皆さんありがとう！



祭りの1週間前、自治会役員、協力会員の皆さんの手で檣の組み立て。暑い！重い！安全第一ですよ！



祭り当日、朝7時から班長さん、有志の方々、総勢100人を超える手によって、祭り会場が作られました。11時には準備完了！



夕方、清流苑のお年寄りの方々も祭り観戦に。アトラクションが始まるのを楽しみにしていました。



武蔵台中学校生徒さんによる吹奏楽が始まり、お祭り気分は一気に盛り上がります。



子供たちの躍動感がみんなに元気を与える！素晴らしいダンスが続く。



谷ヶ崎市長をはじめ多くの来賓の方々から熱いメッセージ。



フラダンスに魅惑され・・・



檣の上では90歳になるお年寄りも元気に踊る！元気をもらい自信を深める人・・・負けじと踊りの輪にとけ込む人・・・夏の祭りは頂点に！

『郊外住宅地の住い方調査』の結果報告会 10年先の武蔵台の生活を想像し、いま、わたしたちは何をしなければならないのか？ なって欲しい街にしていけるために！

7月21日、武蔵台公民館で『郊外住宅地の住い方調査』の結果報告会が開催されました。

(開催者：(株)東急不動産次世代技術センター 協力：こま武蔵台自治会・こま武蔵台ふくしネット 参加者数：51名)
昨年12月に実施し、611世帯から回答が得られたアンケート調査の分析に当たられた東京大学・住宅都市解析研究室の樋野准教授から、調査結果とその分析についての報告がありました。調査は、武蔵台のような郊外住宅地において、安全で安心できる暮らしを維持し、良好な住環境を次代に継承するための施策を検討するためのもので、報告から、「10年先の街の将来の姿を想像して、我々がいま何をしなければならないかを考えましょう！」というメッセージが投げかけられました。

約8割の方が『終の棲家に』・・・

注目するポイントは、実に77%の方が「自宅を終の棲家としたい」と考えていることです。その一方で、回答の73%が「買い物の不便さ」、62%が「車以外での移動が困難」を問題点としてあげています。

団地内のお店を支え、育成する行動が重要・・・

「食料品の買い物」については、92%が地区外の店舗で買い物をしており、団地内のショッピングセンターを利用している人は7%でした。商品の取りやすさ、トイレの使いやすさなど、商品の充実以外にもお店の努力が必要とする分析があった一方、住民側が考えるべき課題として、地域内にショッピングセンターがあるという利点をもっと認識し、それを支え

るための住民による能動的支援・育成行動が重要との指摘もありました。

居場所づくり、共助の意識と行動が地域活性化の基盤・・・

「移動が困難」という問題については、現在実施されている福祉ネット・おたすけ隊の付き添い支援、及び、自治会で検討中の移送サービス事業などが有効に機能することが重要と分析。

「気楽に行ける場所(居場所)を持つこと」は、高齢化が進むにつれより重要となる。「居場所づくり」、「居場所への移動」を地域全体で考えることが必要で、サロン活動や移動支援活動が地域活性化を支える基盤的な活動になるとの考えが示されました。

わたしたちにできることは何かを考え、そして行動する結果が・・・

こま武蔵台が将来も、「高齢者が住みやすい街」、「若い人が住みやすい街」になって欲しいと多くの方がアンケートで答えています。この街に愛着を持ち、安心して将来住み続けるためには、我々一人一人が自分には何かを考えた行動をすること。その結果が、『なって欲しい街になっていく』ことに繋がることを教えて頂いた報告会でした。

(取材：広報部 柳沢)



報告は参加者に大きなインパクトとなりました。

武蔵台地域おたすけ隊の活動 共助社会の活動を展開し地域活性化につなげたい！

武蔵台地域おたすけ隊 主任コーディネータ 進藤 武仁

昨年度の支援活動は1600時間を超える・・・

おたすけ隊については、昨年の武蔵台だより341号で紹介させて頂きましたが、今回は最近の活動状況と今後の見通し等について記載いたします。

昨年27年度は48名の協力会員で1602時間の支援活動を行いました。室内の掃除、片付け、庭の草取り等に加えて、最近では車を使った付添い支援(移送)による通院、買い物、市役所、郵便局等への外出等の要望が増え、その支援時間は全体の50%になっています。

住宅設備の老朽化に伴う簡単な補修要望への対応(水道、チャイム、ポスト、フェンス等)や、包丁研ぎ、爪の手入れなど諸々の困りごとの対応なども増えています。

現在の生活支援主体の活動に、今後は見守り活動も加えたい・・・

高齢化が進む武蔵台は、本年7月の市の人口統計では65歳以上が44.6%で、10年を待たずに高齢化率が50%を越えるのは必須です。このような状況下で一人暮らしの方も増えてきております。おたすけ隊では現在実施している生活関連支援と合わせて、見守り活動を今後の活動の一つに加える必要があると考え、社会福祉協議会や関係部門と協議を進めていく予定です。

自治会の移送サービスを補完し地域活性化につなげたい・・・

自治会が検討を進めている移送サービスを早期に実現して頂き、移動手段のない方々の外出機会を増やして地域の活性

化につなげることを希望しています。おたすけ隊は自治会の移送を補完し、自治会が対応し難い地域外への移送に徐々に移行していきたいと思っております。

福祉ネット等が進める共助社会づくりを更に深める活動を目指す・・・

武蔵台は先輩方の先見の明で早くから福祉ネットを中心として共助社会づくりが進められてきました。共助社会を更に深めていくためには担い手が増えると共に途切れることなくスムーズにバトンタッチが続いていくことが必要です。7月に実施された東京大学都市工学科の郊外型住宅地の住まい方アンケートの結果報告会では、「10年後を見据えた自分自身と街の姿を考えての行動が必要」との示唆もありました。地域活性化のためにも、皆様の更なるご理解とご協力をお願い致します。

おたすけ隊と福祉ネットへのお問い合わせ：
080-1318-4619 又は、042-982-1116



付き添い支援に活躍するささえ合い号
(社会福祉協議会から貸与された福祉車両)

わが街・わが地域・わが暮らしの豆知

武蔵台、台地域の歴史を知ろう！（パート3）

江戸時代の台村の古地図から見える
武蔵台の古道は、

7丁目 塚原一実



前回（武蔵台だより - 第 342 号、「武蔵台の中を秩父詣での古道が貫いていた！」）では、開発前の武蔵台の西側を通っていた横手古道、木綿沢道、太郎坊新道について紹介しました。今回は東側の道について紹介します。

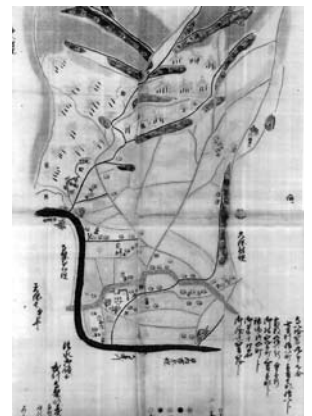
この程、高麗駅横の加藤家から天保 7 年（1836）に清水家に提出した台村の古地図をお借りしました。江戸時代の台村は天領で三卿の清水家の管轄にありました。地図の但書によると、江戸時代末に住居は 57 軒、寺 1 軒で石高は 82 石ありました。狭山湖付近の村の石高と比較するとさほど豊かな村では無かった様です。地図には、円福寺、高札場、御嶽神社、愛宕神社が記載されており、円福寺、御嶽神社を中心に吾野と川越を結ぶ横手村から台村を通り巾着田のある梅原村へ抜ける吾野街道が主道で、他は生活や労働のための道です。

残念ながら団地中心部に江戸時代の道は残っていませんが、東側の外れには少し残っています。高麗駅横の踏切からフレンド幼稚園に伸びる道とその枝道で、フレンド幼稚園北側の三叉路は江戸時代のままです。180 年前の往来を想像すると感慨深いものがあります。現在の高麗駅の下を流れている日向川に沿って田圃が中の田公園まで続いていましたが、その他の 1 丁目は畑でしたし、3 丁目は林、5 丁目は秣（馬草）場だったようです。中の田公園の東側に「稲荷下」という字（あざ）があり稲荷神社が祭られていました。団地内の唯一の社だった様ですが、開発の際に移設され、今はひっそりと高麗駅の北側に安置されています。

また団地内は通ってはいませんでした。主道の吾野街道に飯能からの道（飯能街道）が合流していました。現在の国道 299 の旧道で、西側の横手古道に対し東側の道は滝不動から巾着田に流れこんでいる大沢堀川を三度も渡って曲がりくねって飯能まで続いていた谷を抜ける細道だったことが伺えます。滝不動尊沿いの谷田や大鶴巣公園下の谷田に行く道でした。江戸時代に滝不動尊はありませんでしたが、地形から想像するに、飯能へ抜けるのに滝不動尊の通過は難所だったと想像します。現在はバイパス工事で旧道を辿ることが出来ませんが、大沢舎前の道を下ると深い森の中を流れる大沢堀川に朽ちた丸太が 4～5 本掛かっており、秩父への往還に横手古道が使われた理由が判ります。

ここからは明治時代以降の話ですが、台に 90 年間お住いの新井恒次さんに伺いましたところ、明治 22 年の飯能への県道（現在の国道 299）の開道にあたっては、高麗川経由案と名栗川経由案の裁判係争以外に、団地内を貫く太郎坊新道案と台を経由する飯能街道案の係争もあったとの事です。また昭和 3 年に武蔵野鉄道（西武鉄道の前身）を飯能から鹿山、高麗神社経由で吾野へ敷設する計画があったそうですが、台村で高麗駅の土地を提供し現状に至ったとのことです。昭和 7 年に八高線が開通し高麗川駅が出来ました。

こうしてみると武蔵台は江戸時代後半から出てくる地で、江戸～秩父の往還に関係する場所でした。様々な経緯があって団地をめぐる道が現在の交通網の基礎になっているのは大変興味深いものです。



江戸時代の台の古地図

リレー随想

参院選が、親切と感謝の気持ちを育んでくれました?!

皆さん、7月の参議院選挙は投票しましたか。選挙は重要な行事です。憲法問題あり、地震・津波・大雨災害に対する復旧・復興問題あり、...いや、待てよ? 『武蔵台だより』には少し重く外れた随想かな? 実は、我が家で戴いた温かい気持ち、参院選に関係していることなのです。

都合により期日前投票をするため、7月2日に妻と共に市役所に向かいました。途中、他用を済ませ、車を発進させ、すぐ妻に「入場券は?」と問いかけると、小物入れの中を探して、「用事に立ち寄ったところへ置いてきたようだ?」と急いで先刻の所へ行っただが見当たらず、すれ違いに出てきた男性に尋ねたが、「見ませんでした」と言われる。一旦帰宅して、テーブルの周りや心当たりを探したが、無い。やむなく交番に行くも、入り口には『用事の際は、脇の電話機から...』とあり、本署への直通電話は大げさなの

で帰宅することにした。

門前に車が停めてあり、玄関先で男性と会話中の妻が手にしていたのは見覚えのある色付き封筒。投票場入場券が入った封筒でした。妻は、「これが落ちていて中の地番を見て届けてくださった」とのこと。大切な一票を無にすることもなく、国政に関与(?)できたことで、本当に心温まった『7月2日』でありました。これからは選挙の度に思い出されることでしょう。届けて頂いた「...」さん、本当にありがとうございました。

(3丁目、男性 M・N 光輝高齢者)

編集後記

手作りの夏祭り。年々お祭りを楽しむ人が増えていきます。準備に初めて参加する人も多くいます。「武蔵台だより」を見て、来年は行ってみようかな!と思う人が一人でも多く増えたらと願いながら編集に汗を流した8月でした。

(広報担当 柳沢)